

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立医療保健センター分室（豊能広域こども急病センター）
指定管理者名	一般財団法人箕面市医療保健センター
開催日	令和2年（2020年）9月15日（火）
開催場所	箕面市立医療保健センター分室（豊能広域こども急病センター） 3階大会議室
合議の出席者	箕面市立病院 小児科医長 長谷川 泰浩 氏 公益財団法人阪神北広域救急医療財団 事務局長 徳井 秀朗 氏 高槻市健康福祉部保健所 健康福祉政策課参事 増田 雄一郎 氏 施設利用者 魚谷 千津留 氏

【概要】別添のとおり

<p>内容</p>	<p>令和2年9月15日（火）に箕面市立医療保健センター分室（豊能広域こども急病センター）大会議室にて、指定管理者に係る合議を実施いたしました。その中で下記のようなご意見を合議メンバーからいただき、指定管理者から説明がありました。</p> <p>1 合議メンバーからの意見と意見に対する説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>・ 市町別の救急搬送患者は豊中市・吹田市が多いのはなぜですか。 （説明）</p> <p>明確な理由はわかりませんが、毎年同じ比率になっていますので、地域的なものがあるものと思われます。</p> <p>・ 混雑状況確認システム「ネコの目、COM」のコストはいくらかかっていますか。</p> <p>・ 「ネコの目、COM」は、豊能広域こども急病センターを利用するための人のツールだと思います。休日・夜間診療所という性質上、混んでいるから受診しないことにはならないので、かかりつけ医が運用している診察予約システムではないと思います。利用目的のない人までに周知することもないと思います。 （説明）</p> <p>混雑状況確認システム「ネコの目、COM」のコストは、月に2万円です。この混雑状況システムを導入する前は、受付番号を発券するだけのシステムで、インフルエンザが大変流行した時に2時間待ちになったことがありました。そのため診察中の番号を表示し、あと何人待ちかがわかる混雑状況システム「ネコの目、COM」を導入しました。</p> <p>受付した時に「ネコの目、COM」の案内をし、車内で待機していただく人や、一度家に帰られる人の参考にさせていただいています。あくまでも受診受付を済まされた人への待ち時間の参考にさせていただくもので、手軽に診察予約することが目的ではなく、そこに繋げる周知とは考えておりません。導入してからアンケートの項目として挙げており、「知らない」が68%であったため認知度が低いと捉えたので記載しました。</p> <p>・ 出務協力医師登録人数について、近年、郡市医師会の高齢化を聞きますが、豊能広域こども急病センターもそのような影響はでていますか。 （説明）</p> <p>医師会の高齢化は否めないですが、人数を確保しつつ、枠のバランスを崩さないよう、各団体と調整しながら医師の確保を行っています。</p> <p>・ 大阪府小児救急電話相談（#8000）に電話をかけても繋がらないことが多く、「もしも何かあったら」と不安になるため、豊能広域こども急病センターがあることにとても感謝しています。</p>
-----------	--

(説明)

ありがとうございます。これからも適切な運営に努めていきます。

2 総評

資金面は10連休のゴールデンウィーク、設備備品の更新による支出増があり、昨年度と比べて赤字分は増額しているが、2年前と比べると大幅に赤字が減額されている。また、利用者アンケートの総合的な結果の満足度も高く、指定管理者として適切な運営を行っている、市として評価いたします。